

海外出張報告

沿岸土砂管理研究チーム・中川康之

出張先: 華東師範大学(中国・上海)

目的: 底泥の輸送に関する国際会議(INTERCOH2011)参加および研究発表

期間: 2011年10月17日(月)~10月22日(土)

行程: 10/17: 移動(羽田-上海)・会議登録, 10/18~21: 会議出席, 10/22: 移動(上海-羽田))

出張内容

当会議は2年に一度開催され、泥の凝集過程などの基礎研究から航路埋没や浚渫泥の拡散などの応用研究にいたる、底泥に関連する課題に特化した最新の研究情報の交換の場となっている。主な参加者は欧米の主要研究機関(オランダ Deltares, デンマーク DHI, 米国 EDRC など)や大学の技術者・研究者のほか、中東やアジア地域からの参加者もみられる。今回は、約80件の口頭発表と約25件のポスター発表があった。開催地である中国からの参加者も多く、長江河口での泥の移動や地形変形プロセスなどに関する研究成果の報告に注目が集まっていた。出張者は現在取り組んでいる、東京湾の底泥の特徴と fluid mud 輸送のモデル化について発表した。特に fluid mud 輸送のモデル化については、数値シミュレーションの先進的モデル(たとえばデルフト3Dなど)においても汎用モデルは未確立であり研究途上のため、欧米研究者からも注目され有意義な議論をすることができた。なお、本会議の International steering committee のメンバー(全11名)の日本代表を楠田九大名誉教授より中川が引き継ぐことが、委員会にて承認された。



緑豊かな華東師範大学キャンパス



講演会場の様子



同大学河口海岸実験室見学



上海羊山深水港コンテナターミナル見学